



一般社団法人日本マスキング学会 2023年度第1回理事会議事録

日時：2023年4月14日（金）13：00～14：40

会場：TKP品川カンファレンスセンター カンファレンスルーム10E・Zoom（ハイブリッド開催）

議長：大浦敏博 理事長

出席：（会場）

石毛信之、伊藤哲哉、大浦敏博、重松陽介、但馬 剛、田島敏広、中村公俊、濱崎考史、
平原史樹、山口清次（以上 理事）、福士 勝、松原洋一（以上 監事）

（Zoom）

大竹 明、九曜雅子、田崎隆二、花井潤師、南谷幹史（以上 理事）

欠席：窪田 満、酒井好美（以上 理事）

議事次第：

1. 開会の辞（大浦 理事長）

- ・出席者が定数を満たしたため、理事長より定時にて理事会を開催する旨挨拶があり開会した。

2. 報告事項

1) 選挙結果報告（南谷 理事）

- ・WEBにて実施した理事選挙について報告があった。
- ・A系は定数9名のところ同数の方がいたため10名選出、B系も定数5名のところA系同様同数の方がいたため候補者は6名となったが、1名が辞退されたため、選出数は5名となった。
- ・選挙で選出された方は次回社員総会で正式に承認となるため、現時点では候補者となっている。

3. 審議事項

1) 役員候補推薦について（大浦 理事長）

- ・区分ごと（A系・B系）に推薦役員（評議員・理事）候補者を選出した。

①評議員候補者

- ・候補者として推薦する評議員は最大33名である。
- ・A系：22名、B系11名の候補者を選出した（別紙1）。
- ・愛知県の候補者については、石毛先生に確認して頂く。
- ・候補者に通知し、評議員候補についての諾否確認を行う。

②理事候補者

- ・候補者として推薦する評議員は最大5名、総理事数は20名以内である。
- ・A系：3名、B系1名の候補者を選出した（別紙1）。
- ・候補者に通知し、理事候補についての諾否確認を行う。

2) 学術論文、学術集会発表時の利益相反COI表明の規定とその表示および運用について（平原 理事）

- ・利益相反COI表明の規定については、2015年度の理事会で決定している。ただし、学会誌の投稿規定には掲載されているが、ホームページには公開されていない。また、「学術論文、学術集会発

表時の利益相反 COI の表明方法」についても同様に承認されているが、現時点では公開されていない。そのため、規定および表明方法などの公開について検討した。

- ・ 検討結果は下記のとおり。
 - ・ 表明方法の詳細については、学術集会長に一任するが、原則として今回承認された内容を学会ホームページだけではなく、学術集会ホームページにも公開してアナウンスをしていただく。
 - ・ 学会ホームページへの公開場所は、利益相反というページを新たに設置したらどうかという提案があり、他学会の公開方法も参考にして検討する。
 - ・ 利益に関する開示表示の該当項目について、該当する項目があった場合の表明方法については、企業名のみ公開し、金額の記載は不要とする。
 - ・ 文面について意見があれば 1 週間以内に事務局まで連絡をしていただく。特に意見がなければ、金額欄を削除し、その他の文言も再度確認し、理事会に報告（別紙 2）し、ホームページに公開する。

3) 名誉会員・功労者について（大浦 理事長）

- ・ 2023 年度の名誉会員・功労者の推薦をお願いしたい。後日改めてメールでご案内する。
- ・ 名誉会員の年会費は無料、学術集会参加についてはご招待とし、参加費は学会が負担し学術集会に支払う。

4) その他（大浦 理事長）

①ホームページの更新作業について

- ・ 今後の更新作業は学会事務局にて行う。費用は作業が発生した月に 5,000 円/1 か月学会宛に請求をすることとしメール理事会審議にて承認済み。

②監事について

- ・ 監事の選出は社員総会での決議事項となっているため、8 月に開催する社員総会で決定する。
- ・ 監事候補者は就任する事業年度開始日に 75 歳未満であることが条件となっている。

③International Journal of Neonatal Screening (IJNS)について

- ・ 現状維持とする。論文賞は 5 本以上掲載されないと対象にならないため、再度アナウンスをする。

④その他、理事からのご意見

- ・ 厚労省が関与する先天異常、先天代謝異常のスクリーニングや聴覚スクリーニングなど、本来であれば拡大スクリーニングを含め各学会が歩調を合わせて取り組むべき内容が、個別の対応となっているのが現状である。こども家庭庁が発足した今、学会としても各所と連携を取っていくような仕組みを検討したらどうかという提案が平原理事よりあった。
- ・ 既に亡くなった方の名誉会員への推薦は可能か（大竹理事）。過去の功績についても、表彰など、何らかの対応をしてはどうかという提案があり、次回以降に検討する。

- ・ピボキシル基含有抗菌薬の副作用による低血糖、急性脳症様症状の報告が続いている。耳鼻科領域で使用されていることが多いので、当学会から働きかけ出来ないか（大竹理事）？

⑤次回理事会について

- ・6月に新理事による暫定理事会を開催する予定。新理事長候補の選出、委員会組織について検討する予定。

4. 閉会の辞（大浦 理事長）

- ・理事長より閉会の挨拶があり、理事会は終了した。

以 上

2023年4月28日

一般社団法人 日本マスキング学会

議長： 大浦 敏博



議事録署名： 福士 勝



議事録署名： 松原 洋一

